

森林環境教育(森林ESD)活動報告・意見交換会発表概要

① 活動報告課題名

京都市立金閣小学校での「遊々の森」を活用した森林教室

② 発表団体名

京都森林インストラクター会

③ 発表概要

京都森林インストラクター会は、平成13年(2001年)から、京都市立金閣小学校が学校近くの衣笠山で行う森林体験学習の指導役を担っています。

同校では、平成13年以前には、授業で衣笠山を歩くことはあっても、自然を観察しながら歩くことはありませんでした。そのような中、当時の3年生の先生達が、「子ども達に自然への興味を持たせてあげたい」と考えられ、衣笠山国有林を管理する京都大阪森林管理事務所に問い合わせられたのがきっかけで、当会が関わることになりました。森林インストラクターが参加することで、見るだけだった森が、発見し経験する場になるなど児童達の興味が広がったことが学校に評価され、同校の森林体験学習は内容を深めて現在も続いています。

15年目に入った現在では、3年生の秋に自然観察、冬に野鳥の学習と巣箱かけ、4年生になって人工林と天然林など森林のタイプを学び、5年生では森林の役割や人とのつながりを学び、このように段階的に内容を深めています。

さらに今後、生態系を学ぶ学校の授業に、森林インストラクターが森の専門家として参加することが、学校で検討されています。

当会では、衣笠山の自然が大好きな金閣小学校の児童と、これからも継続的に学習していきます。

年度			H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
学年	内容	時期															
3年	森林教室 (自然観察)	10月	○														
	巣箱かけ	3月				○											
4年	巣箱かけ	3月			○												
	巣箱外し						○										
	タイプ別森 林観察	2月					○				○			○			
	キノコの 菌打ち	3月								○							
	10周年記念 植樹												○				
	巣箱外し	3月				○											
5年	キノコの 菌打ち	3月				○										○	
	季節ごとの 観察・チーム 別調査	3回/ 年								○							
	森と人との かかわり	-											○				
6年	ほだ木 本伏せ	6月					○										
3年生の児童数			100	135	117	125	113	144	125	117	111	99	107	81	83	85	85

↑「遊々の森」締結

予定

1. 3年生の森林教室(自然観察)はH13年より継続。
2. H15年に「遊々の森」協定を締結したことで、巣箱かけやキノコ栽培などができるようになり、国有林内で活動の幅が広がった。
3. 巣箱かけは最初の年のみ4年生が実施。翌年以降は3年生が実施。
4. 4年生では1年前にかけた巣箱を外すついでに、衣笠山の自然をもう少し詳しく学習。
5. キノコの菌打ちは、4,5年おきに実施。
6. 5年生の「森と人とのかかわり」では、森林の果たす役割や、私たちの生活との結びつきを学習。